

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和5年12月8日

施設名	高知県立甫喜ヶ峰森林公園	所管課	林業振興・環境部 林業環境政策課
-----	--------------	-----	------------------

1 施設の概要

指定管理者名	(一社)高知県山林協会	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町平山		
事業内容	(1) 森林公園における行為の許可等及び森林学習展示館の利用の許可等に関する業務 (2) 利用料金の徴収に関する業務 (3) 森林公園の施設、設備、機械器具、立木等の維持管理及び補修に関する業務 (4) 森林公園の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務		
施設内容	森林公園の面積:102ha 森林学習展示館(466.56㎡、延床面積400.0㎡)、研修棟(ホッキーの館、171.61㎡)、遊歩道(L=7,500m、車椅子用1,764m)、キャンプ場、林道(甫喜ヶ峰線3,232m、御幸線859m)、風力発電施設(公営企業局) 利用時間:午前9:00から午後4:30まで 休園日:12月29日から翌年の1月3日まで 主な利用料金:行商等及び興行等 使用面積1㎡当たり日額20円		
職員体制	常勤職員:1人	嘱託員:4人	合計:5人

2 収支の状況

単位:千円

		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
収入	県支出金	23,114	23,114	23,392
	使用料・手数料	45	83	214
	その他	368	615	30
	収入計 (a)	23,527	23,812	23,636
支出	事業費	187	353	614
	管理運営費	5,235	4,803	5,222
	人件費	20,074	19,710	17,800
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	25,496	24,866	23,636
収支差額 (a)－(b)		△1,969	△1,054	0

3 利用状況

	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	58,848	54,889	60,000
	職員派遣事業等により施設外での対応実績人数		
	969	1,206	2,000
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学習展示館にアンケート用紙を設置すると共に、イベント時には参加者へアンケートを実施した。 ・来園者に声掛けするなど直接声を聴く取り組みを行っている。 ・SNSを活用したニーズ把握を行っている。 		
③その他特記事項	○ 利用者意見等を踏まえた対策		
	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントでは、参加者の要望を取り入れたプログラムを積極的に実施することで、リピーターになっていただくことや友人を誘って利用していただくようになった。 		

4 令和4年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた人数を効果的に配置し、広い園内をよく手入れし、管理している。 ・少人数でも工夫しながら、労務班との協力によりしっかりした管理ができており、アンケート、聞き取りでニーズを把握し、プログラム改善、見直しに活用している。 ・快適を目指した小まめな点検や取り組みができています。 ・防犯・防災等の点検がよくされている。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・防災学習に取り組み、トレイルラン等のイベントで成果を上げている。SNS活用の試みを、このまま継続してほしい。 ・災害に関するニーズから、森林環境保全における防災教育プログラム実施は効果があると思われる。
③利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺イベントの延期・天候等により、やや減であるが、許容範囲と考えられる。
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな形で経費削減に努めている。
総合評価	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広いフィールド管理は大変だと思うが、工夫しながら安全面・管理面で、しっかり行われている。 ・防災学習と組み合わせたプログラムの開発は素晴らしい取り組み。大いに発信してほしい。山林協会の強みを活かしている。

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの